

平成29年度 施策評価シート（評価対象：H28年度）

【1. 施策名】

施策コード	232-01	基本施策	上下水道等の整備	所管部局	上下水道局
施策名	安全でおいしい水の安定的な供給			主担当課	水道整備課
				関係部局課	浄水課 水道維持課
施策の目標	日常生活に必要な不可欠な水の安全性とおいしさを確保するとともに、計画的な水道施設の整備により安定的な供給を目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

昭和40年代の高度成長期に建設した水道施設は老朽化が進み、法定耐用年数を超過した老朽管の解消や老朽施設の更新及び耐震化への取組が喫緊の課題となっている。これらに対応するため、平成26年度に水道ビジョンを改訂し、優先度を踏まえた幹線管路の耐震化や施設の老朽度、重要度を勘案した更新計画を策定し、効率的な施設更新を実施することで水道水の安定供給を図っていく。

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
老朽管解消率	%	3.5	8.8	11.1	15.3	19.5	24.3	12.2
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
実施延長÷計画延長	計画的に整備を進め、解消率の増加を示す。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
28年度の 取組内容 実績	老朽管解消事業 送配水管更新整備 配水管（φ50mm～φ250mm） L=16,695m 送配水幹線（φ300mm～φ600mm） L= 319m							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に対して）	順調	243 %
評価の理由・説明等		
適応性 市民ニーズや社会 経済状況の変化に 柔軟に対応してい るか	老朽管の解消に併せて、地震等の災害時においても水道水を安定的に供給するための耐震化と、管路の重要度を考慮した効率の良い整備を実施した。また、人口減少による配水量の減少を踏まえ50年後の水需要を見通し、水系や施設の統廃合及びダウンサイジングにより老朽化した水道施設の更新を行うため28年度に長野地区の水道施設整備計画を策定した。	
達成度 施策の目標達成に 向けて順調に進ん でいるか	平成24年度から送配水幹線の老朽管解消事業において、国庫補助事業を活用しながら事業費を平成26年度は1,455百万円、27年度は1,911百万円と拡大を図り、平成26年度の時点で目標値を上回り、平成27年度以降も計画延長以上の老朽管を解消した。	
事業の成果等 施策を構成する事 務事業は目標を達 成しているか	老朽管解消事業に関連する「長野地区配水ブロック化事業」は、平成28年度に策定した水道施設整備計画と整合を図り、効率的に事業を進め、概ね計画どおりブロック仕切を実施した。また、「水源・浄水場等施設整備事業」については、計画どおり事業を進めることができた。「簡易水道施設整備」については、計画どおり事業を実施し、目標の平成28年度末に水道事業と統合した。	

【5. 今後の展開】

課題	課題解決に向けた具体的な取組
短期 老朽管解消事業の事業費が増大したことにより、市内の工事箇所数が増え、それに伴う通行規制により市民生活に影響が出る恐れがある。	工事発注において事前に工事箇所や時期について、関係支所や関係機関及び地元住民代表と十分に協議を行い、状況により夜間作業に変更することで昼間の交通渋滞等による市民生活への影響を最小限に抑えるよう配慮している。
中長期 老朽管解消事業に基づき管路更新を平準化し計画的に実施しているが、今後も耐用年数を迎える老朽管の増加ペースに追いつかない状況である。	人口減少による水需要の減少を見据えて、コストが安価な管種の採用、併せて長寿命管、耐震管の採用及び口径のダウンサイジングを行うことで更新費用を抑え、老朽管解消を図っていく。
施策展開の方向性 (H29年度以降)	平成27年度から長寿命管並びに耐震管であるダクタイトル鉄管のGX管を本格的に採用すると共に、併せてコストの安価な管種の採用拡大を図り、将来の水需要の減少を見据えた上水道施設整備計画に基づいた、口径のダウンサイジングや施設の統廃合を行うことで、効率的かつ効果的な老朽管解消事業を実施していく。また、平成29年度より松代、若穂、豊野、芋井、小田切、七二会、信更地区における中山間地域と、平成30年度から旧簡水エリアの戸隠、鬼無里、大岡、中条、信州新町地区の上水道施設整備計画を策定し、老朽化した水道施設の更新、統廃合を進めていく。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
1	老朽管解消事業 [建設・改修整備事業] 水道整備課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		老朽管を解消することにより漏水や赤水を解消し、安全で良質な水を供給するため、昭和51年以前に布設された配水管及び送配水幹線の更新整備を行う。									
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	B					継続	1,341,997	1,700,957	1,446,447	2,622,198	
2	水源・浄水場等施設整備事業 [建設・改修整備事業] 浄水課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		水源や浄水場の老朽化した施設の整備及び更新を行い、災害に強い施設づくりや水質管理の徹底を図り、安全でおいしい水の安定供給を維持する。									
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	B					継続	550,806	611,227	290,025	802,804	
3	簡易水道施設整備 [建設・改修整備事業] 水道整備課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条地区の簡易水道施設整備、戸隠浄水場の建設及び老朽化した導送配水管の布設替え、施設の更新を行う。									
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	A					終了	408,919	582,049	1,220,155	0	
4	長野地区配水ブロック化事業 [建設・改修整備事業] 水道維持課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		長野地区の配水管網をブロック化し、災害時の被害抑制と適正水圧の確保による効率的な維持管理の向上を図る。									
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H29は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29
	B					継続	10,147	0	13,208	0	

平成29年度 建設事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

47-1

【1. 事業の概要】

基本施策名	232	上下水道等の整備			担当部局	上下水道局	
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給			担当課	水道整備課	
事業番号	企業会計	事業開始年度	平成	23	年度	作成者（連絡先）	
事業名	老朽管解消事業						
事業内容 (全体計画)	【目的・事業概要】 漏水や赤水を解消し、安全で良質な水を安定供給するため、昭和51年以前に布設された配水管及び送配水幹線の更新整備を行う。						
	【内容】 送配水管更新整備 配水管 φ50mm～φ250mm L= 158,800m 送配水幹線 φ300mm～φ600mm L= 19,300m						
	【総事業費】 22,220,000千円 【国庫補助】 生活基盤施設耐震化等交付金 水道施設耐震化事業費 水道管路耐震化等推進事業費 老朽管更新事業 補助率 25% 国庫補助対象額 3,317,200千円（国庫補助額 829,300千円）						
	【起債額及び交付税措置率】 公営企業債（水道事業債）《特定財源・市債欄》 交付税措置率 0% 一般会計出資債分《特定財源・その他欄》 交付税措置率 50～80%						
	総事業費	22,220,000 千円	うち用地取得額		千円		
	補助額	829,300 千円	補助率	25%	市債額	21,390,700 千円	交付税措置率 上記記載
根拠法令等							

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度実績	29年度予算	終了予定年度
						(35 年度)
年間 経費 の 推 移	①事業費 (千円)	1,341,997	1,700,957	1,446,447	2,622,198	特記事項 ・平成29年度から平成38年度までの水道施設整備計画を見直した。平成29年度予算については、新たな計画に基づき予算額を計上している。
	委託料	20,896	1,916	19,456	64,408	
	工事請負費	1,291,340	1,648,332	1,412,898	2,494,610	
	路面復旧費	29,761	50,591	13,323	48,180	
	補償金		118	770	15,000	
	②人件費概算 (千円)	43,500	58,560	65,880	80,190	
	正規職員 (人)	6.0	8.0	9.0	11.0	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	1,385,497	1,759,517	1,512,327	2,702,388	
	④特定財源 (千円)	1,148,403	16,950	1,147,910	2,032,036	
	国・県支出金	41,324	16,950	17,115	5,888	
	市債	1,060,400		964,900	1,734,800	
	その他	46,679		165,895	291,348	
⑤市負担額 ③-④ (千円)	237,094	1,742,567	364,417	670,352		

基本施策名	232	上下水道等の整備	整理No.	47-1
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給	担当部局	上下水道局
事業名	老朽管解消事業		担当課	水道整備課

【3. 事業進捗状況】 評価ランク A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

	27年度以前	28年度	29年度以降
実施内容	送配水管更新整備 配水管 (φ 50mm～φ 250mm) L=62,002m 送配水幹線 (φ 300mm～φ 600mm) L= 8,215m	送配水管更新整備 配水管 (φ 50mm～φ 250mm) L=16,695m 送配水幹線 (φ 300mm～φ 600mm) L= 319m	【H29年度】 送配水管更新整備 配水管 (φ 50mm～φ 250mm) L=13,386m 送配水幹線 (φ 300mm～φ 600mm) L= 2,210m 【H30年度以降】 送配水管更新整備 配水管 (φ 50mm～φ 250mm) L= 66,717m 送配水幹線 (φ 300mm～φ 600mm) L= 8,556m
事業進捗状況	計画通り整備実施	関係機関（道路・交通管理者、沿線事業者、他の占有者等）との協議、調整が難航したことから全体工事の1/3の工事を繰越している。	(29年度以降は見込み)
進捗状況の分析	進捗状況の評価	進捗状況が他事業等に及ぼす影響など	
	B	1/3の工事は繰越となったが、概ね計画通りに整備は進んでいる。今後も関係機関との協議、調整を迅速に行い事業を進める。また、平成29年度からは、昨年度策定した水道施設整備計画に基づいて整備を行っていく。	
	概ね順調		

【4. 今後の課題・方針】

課題	<p>今後、高度成長期に布設した多くの水道管が耐用年数を経過し老朽管が増加していくなかで、一部腐食防止対策を施した管路の耐用年数を見直し、更新事業の平準化を図っていく。また、浄水場と配水池とを結ぶ幹線管路の更新とともに災害時における重要給水施設への管路整備も取り組むべき課題である。</p>	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	<p>平成28年度策定の水道施設整備計画に基づいて送水・配水幹線などの幹線管路整備を平成29年度より平成48年度までの20年間、並びに病院や避難場所などの重要給水施設までの配水管の耐震化を平成29年度から平成33年度までの5年間で整備を進める。また、将来の水需要の減少を見据えた水道施設整備計画により、水道管のダウンサイジングを行うことで、効率的かつ効果的な老朽管解消事業を実施していく。</p>

平成29年度 建設事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

47-2

【1. 事業の概要】

基本施策名	232	上下水道等の整備			担当部局	上下水道局		
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給			担当課	浄水課		
事業番号		事業開始年度	平成	22	年度	作成者（連絡先）		
事業名	水源・浄水場等施設整備事業							
事業内容 (全体計画)	<p>【目的・事業概要】 犀川浄水場：不足している排水処理施設の拡充により、表流水の安定取水を可能とするもの。 寺尾浄水場：老朽化している施設の更新により、安全で安定した水の供給をするもの。 西条浄水場：浄水処理を緩速ろ過方式から膜ろ過方式に更新することにより、安全で安定した水の供給をするもの。 笹平浄水場：浄水処理を急速ろ過方式から膜ろ過方式に更新することにより、安全で安定した水の供給をするもの。</p> <p>【内容】 犀川浄水場：汚泥一次濃縮槽(容量1,100m³)、取水施設 寺尾浄水場：薬品注入設備、非常用発電機、非常用発電機棟 西条浄水場：膜ろ過施設棟、膜ろ過施設設置、電気設備、場内配管、既設緩速ろ過池撤去 笹平浄水場：膜ろ過施設棟、場内整備、電気設備、場内配管</p> <p>【総事業費】 3,884,761千円 犀川浄水場： 2,273,523千円 寺尾浄水場： 1,025,435千円 西条浄水場： 309,074千円 笹平浄水場： 276,729千円</p> <p>【国庫補助】 水道水源開発等施設整備費 高度浄水施設等整備費 補助率1/3 西条浄水場：国庫補助対象額 140,720千円（国庫補助額 46,906千円） 笹平浄水場：国庫補助対象額 179,223千円（国庫補助額 59,741千円）</p> <p>【起債額及び交付税措置率】 公営企業債（水道事業債）《特定財源・市債欄》 交付税措置率 0%</p> <p>【事業期間】 犀川浄水場：H22～H30 寺尾浄水場：H23～H29 西条浄水場：H26～H27（完了） 笹平浄水場：H27～H28（完了）</p>							
	総事業費	3,884,761千円	うち用地取得額		千円			
	補助額	106,647千円	補助率	1/3	市債額	3,271,400千円	交付税措置率	—
	根拠法令等							

【2. 事業のコスト】

年度	26年度決算	27年度決算	28年度実績	29年度予算	終了予定年度		
					(30 年度)		
年間経費の推移	①事業費 (千円)	550,806	611,227	290,025	802,804	特記事項	
	工事請負費 (犀川)	334,686	233,427	77,109	504,152		
	工事請負費 (寺尾)	163,958	177,015	11,140	298,652		
	工事請負費 (西条)	52,162	125,832				
	工事請負費 (笹平)		74,953	201,776			
	②人件費概算 (千円)	7,250	7,320	7,320	10,935		
	正規職員 (人)	1.0	1.0	1.0	1.5		
	嘱託職員 (人)						
	臨時職員 (人)						
	③事業費計 ①+② (千円)	558,056	618,547	297,345	813,739		
	④特定財源 (千円)	453,245	384,048	237,769	669,800		
	国・県支出金	11,135	40,148	55,364	0		
	市債	381,301	343,900	125,100	669,800		
	その他	60,809		57,305			
	⑤市負担額 ③-④ (千円)	104,811	234,499	59,576	143,939		

基本施策名	232	上下水道等の整備	整理No.	47-2
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給	担当部局	上下水道局
事業名	水源・浄水場等施設整備事業		担当課	浄水課

【3. 事業進捗状況】 評価ランク A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

	27年度以前	28年度	29年度以降
実施内容	(犀川浄水場) ・汚泥一次濃縮槽 ・汚泥一次濃縮槽機械設備 (寺尾浄水場) ・薬品注入設備 ・計装設備 (西条浄水場) ・膜ろ過施設棟 ・膜ろ過施設設置 ・場内配管 ・電気設備 (笹平浄水場) ・膜ろ過施設棟 ・場内配管 ・場内整備 ・電気設備	(犀川浄水場) ・取水施設 (寺尾浄水場) ・場内整備、場内配管 (笹平浄水場) ・膜ろ過施設設置 ・電気設備	【29年度】 (犀川浄水場) ・取水施設、取水ポンプ更新 (寺尾浄水場) ・非常用発電設備 【30年度以降】 (犀川浄水場) ・取水施設、取水ポンプ更新
事業進捗状況	(笹平浄水場) ・場内整備、電気設備 本工事と関連し同時発注した建築工事が入札不調になり、工事の着手が遅れたため、繰越となった。 ・管理棟 降雪による天候不順により、建物周囲の造成の工事期間が延長し、上屋の工事着手が遅れたため、繰越となった。	(犀川浄水場) ・掘削中のケーシング破損により工程が遅れ、繰越となった。 (寺尾浄水場) ・既設構造物解体工の工程が遅れが生じ、繰越となった。 (笹平浄水場) ・予定通り完了	(29年度以降は見込み) (犀川浄水場) ・30年度に工事完了予定 (寺尾浄水場) ・29年度に工事完了予定
進捗状況の分析	進捗状況の評価	進捗状況が他事業等に及ぼす影響など	
	B	一部の工事が繰越となったものの、概ね予定通りの工程であり目標年度には完了する見込み。	
	概ね順調		

【4. 今後の課題・方針】

課題	既存施設の運用に支障が生じないように計画的に施工することが必要である。		
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容	
	継続	安全な水道水を継続的に安定供給できるよう、今後も計画的に事業を進める。	

平成29年度 建設事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

47-3

【1. 事業の概要】

基本施策名	232	上下水道等の整備				担当部局	上下水道局	
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給				担当課	水道整備課	
事業番号	企業会計	事業開始年度	平成	22	年度	作成者（連絡先）		
事業名	簡易水道施設整備							
事業内容 (全体計画)	【目的・事業概要】 ・平成28年度末の上水道との統合に向け、国庫補助事業を導入し、新たに戸隠浄水場を建設して水源・浄水場の統廃合を行い、維持管理の向上を図る。 ・老朽化した導送配水管及び施設の更新を計画的に行ない、安全で良質な水を安定供給する。 ・断水や破裂等の事故に迅速に対応できるように、故障通報装置の整備を国庫補助事業により整備を図る。 【内容】 ・水源浄水施設整備 (戸隠)戸隠浄水場(膜ろ過 Q=920m ³ /日)、配水池築造 2箇所、送水ポンプ場建設 2箇所 導送配水管布設 φ100~150mm L=12,279m (中条)送水ポンプ場建設 2箇所、送水管布設 φ75mm~100mm L=4,304m (信州新町)浄水場整備 取水井戸 2箇所、導水管布設 φ75mm L=260m、紫外線処理施設 1箇所 ・管路整備 φ50~150mm L=39,411m ・施設整備 ポンプ・電気・計装設備等の更新 ・遠隔監視システム 故障通報装置の一元化、各水道施設への計装設備設置 【国庫補助】 簡易水道等施設整備費 簡易水道再編推進事業・生活基盤近代化事業 補助率25%							
	総事業費	4,338,150千円	うち用地取得額		4,212千円			
	補助額	420,573千円	補助率	25%	市債額	3,472,571千円	交付税措置率	41~55%
	根拠法令等							

【2. 事業のコスト】

年 度	26年度決算	27年度決算	28年度実績	29年度予算	終了予定年度		
					(28 年度)		
年間経費の推移	①事業費 (千円)	408,919	595,657	1,220,155	0	特記事項	
	委託料	16,374	33,600	920		平成29年度、簡易水道事業は、上水道事業と統合した。今後は、上水道事業との一元化により効率的な施設運用を進めていく。	
	路面復旧費	8,678	4,972	9,228			
	工事請負費	383,705	556,188	1,209,718			
	補償費	0	0	0			
	用地費	162	897	289			
	②人件費概算 (千円)	29,000	36,600	36,600	0		
	正規職員 (人)	4.0	5.0	5.0			
	嘱託職員 (人)						
	臨時職員 (人)						
	③事業費計 ①+② (千円)	437,919	632,257	1,256,755	0		
	④特定財源 (千円)	293,252	432,397	948,677	0		
	国・県支出金	17,452	21,997	65,177			
	市債	275,800	410,400	883,500			
その他							
⑤市負担額 ③-④ (千円)	144,667	199,860	308,078	0			

基本施策名	232	上下水道等の整備	整理No.	47-3
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給	担当部局	上下水道局
事業名	簡易水道施設整備		担当課	水道整備課

【3. 事業進捗状況】 評価ランク A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

	27年度以前	28年度	29年度以降
実施内容	水源浄水施設整備 配水池築造 2箇所 送水ポンプ場建設 2箇所 戸隠浄水場建設 1箇所 導送配水管布設 L=12, 279m 管路整備 L=30, 708m 施設整備 55箇所 遠隔監視システム 80箇所	送水施設整備 送水ポンプ場建設 2箇所 浄水施設整備 導水管布設 L=260m 紫外線処理施設建設 1箇所 管路整備 φ50～150mm L=8, 703m 施設整備 24箇所	
事業進捗状況	計画通り完了	計画通りに完了	(29年度以降は見込み)
進捗状況の分析	進捗状況の評価 A 順調	進捗状況が他事業等に及ぼす影響など 平成29年4月1日より、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町及び中条地区の簡易水道事業は長野市水道事業に統合した。 平成22年度からの簡易水道統合事業により、遠隔監視システムの整備、クリプトスポリジウム対策を実施した結果、維持管理面及び衛生面での安全性が向上した。また、幹線管路の老朽管布設替により漏水量が低減したことから、事業の効果的な推進が図られた。	

【4. 今後の課題・方針】

課題					
方針	<table border="1"> <tr> <td>今後の方針</td> <td>方針の理由、具体的な取組内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>終了</td> </tr> </table>	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容		終了
今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容				
	終了				

平成29年度 建設事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No. **47-4**

【1. 事業の概要】

基本施策名	232	上下水道等の整備			担当部局	上下水道局
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給			担当課	水道維持課
事業番号	企業 会計	事業開始年度	平成	9	年度	作成者（連絡先）
事業名	長野地区配水ブロック化事業					
事業内容 (全体計画)	【目的・事業概要】 長野地区の配水管網をブロック化し、水道水の安定給水及び維持管理の向上を図る。					
	【内容】施設概要 総ブロック数：71箇所（見直し後：66箇所）					
	【総事業費】 1,060,000千円（見直し後：1,160,000千円）					
	【起債額及び交付税措置率】 公営企業債（水道事業債） 交付税措置率 0%					
	総事業費	1,060,000千円	うち用地取得額		千円	
	補助額	千円	補助率		市債額	1,060,000千円 交付税措置率
根拠法令等						

【2. 事業のコスト】

年 度	26年度決算	27年度決算	28年度実績	29年度予算	終了予定年度	
					(30年度)	40年
年間 経費 の 推 移	①事業費 (千円)	10,147	0	13,208	0	特記事項
	流入ピット設置	10,147	0	13,208	0	
	②人件費概算 (千円)	18,125	21,960	21,960	21,870	
	正規職員 (人)	2.5	3.0	3.0	3.0	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	28,272	21,960	35,168	21,870	
	④特定財源 (千円)	10,147	0	13,208	0	
	国・県支出金					
	市債	10,147	0	13,208	0	
	その他					
	⑤市負担額 ③-④ (千円)	18,125	21,960	21,960	21,870	

基本施策名	232	上下水道等の整備	整理No.	47-4
施策名	232-01	安全でおいしい水の安定的な供給	担当部局	上下水道局
事業名	長野地区配水ブロック化事業		担当課	水道維持課

【3. 事業進捗状況】 評価ランク A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

	27年度以前	28年度	29年度以降
実施内容	ブロック仕切 51箇所 流入ピット整備 54箇所	ブロック仕切 3箇所	ブロック仕切 17箇所 流入ピット整備 17箇所
事業進捗状況	ブロック仕切 71.8 71ブロック中51ブロック完了 流入ピット 76.1% 71ブロック中54ブロック完了	ブロック仕切 76.1 71ブロック中54ブロック完了 流入ピット 76.1% 71ブロック中54ブロック完了	(29年度以降は見込み) 配水幹線の布設工事の進捗に併せ、流入ピットの設置及びブロック仕切作業を実施予定。
進捗状況の分析	進捗状況の評価	進捗状況が他事業等に及ぼす影響など	
	B	配水幹線の布設替工事の遅れに伴い、事業計画で定めた流入ピット整備に遅れは生じているものの、ブロック仕切作業については概ね計画どおり進捗している。	
	概ね順調		

【4. 今後の課題・方針】

課題	平成28年度に策定された「長野市上水道施設整備計画」において配水幹線網の変更に伴い、ブロックの統廃合や流入箇所の変更が生じたことから、ブロック化事業計画の見直しを行った。今後、配水幹線の布設工事に遅れが生じた場合には、ブロック化事業の進捗に影響が出る可能性があるため、関係課と調整する必要がある。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	水道水の安定供給及び配水施設の維持管理の向上を図るため、配水幹線の布設替工事の進捗状況に併せて、配水ブロック化事業を継続する。